

■ 画像明度フィードバック制御ストロボ電源 / GLCV

画像明度追従制御 ストロボ

調光：0～999段階



項目	GLCV
点灯制御ch	1チャンネル, 2チャンネル独立 3チャンネル独立, 4チャンネル独立
点灯方式	ストロボ点灯(大電流瞬時供給方式)
調光範囲	0～999(リニアスケール、デジタル表)
調光方式	手動:ロータリーエンコーダ式 自動:RS232C
ストロボ発光幅	1～999×(10μs)
電源容量	50W, 100W, 200W, 300W
同期制御	内蔵マイコン
制御出力	RS232C
外部信号入力	トリガ信号:フォトプラ入力 (内蔵電圧24Vに330Ωでプルアップ)
内部トリガ発生	切替SW(外部TRG入力/内部TRG発)
外部出力	オープンコレクタ出力(Max:30V/40mA)
出力電圧	ストロボ点灯:24V, 36V
入力電圧	AC100V(AC85V～132V)、50/60Hz
外形寸法	115(W)×253(D)×110(H) 突起物含まず

*RS232C通信コネクタはインチ/DSub9ピン/メスピンのです。

調光の自動制御:

- ワークの色・表面光沢が変わっても、画像の明度が一定になるように、発光輝度を自動調整します。
- 画像処理エンジンからの明度フィードバック制御で自動調光。

ストロボ発光:

定常点灯LED照明をストロボ発光で使用できます。

- 定常点灯に比べて光量を数倍UP!
- LED素子が発熱せず光量が安定!
- 寿命が飛躍的に延びる!

発光とカメラの同期:

トリガ入力信号、ストロボ発光、カメラ用トリガ信号のタイミング調整のマスター装置として機能します。

- 画像検査装置がこの電源からのトリガ出力信号を利用してカメラ撮像を行うことにより、ストロボ発光とカメラ撮像の完全な同期を実現できます。

ワーク静止時のストロボ発光:

内部トリガ発光モードを備えており、外部トリガを入力することなく10Hzでストロボ発光ができます。

- ワークが休止状態(外部トリガ入力無し)でも、ストロボ発光モードで、カメラ調整が行えます。

ロータリーエンコーダ調光方式:

- 1000段階のリニアな操作性とデジタル表示。

■外部入・出力タイムチャート

